

1月21日から25日頃にかけての大雪について

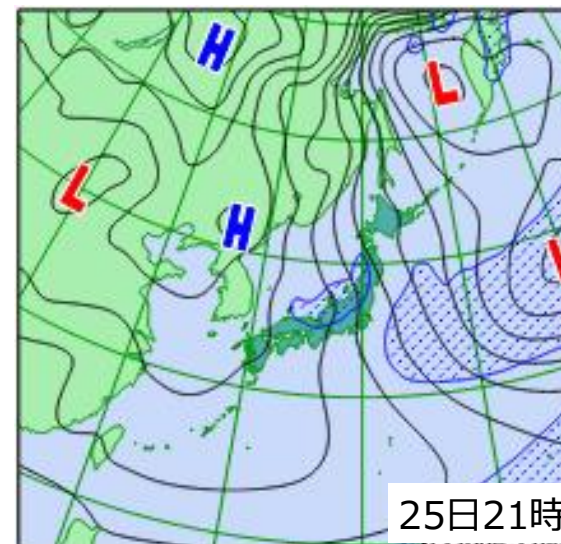
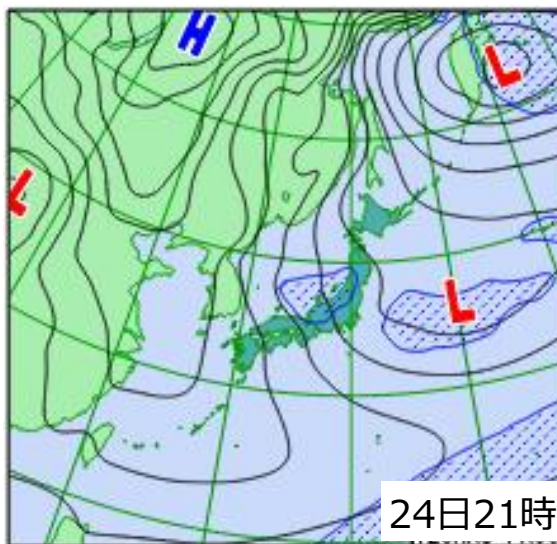
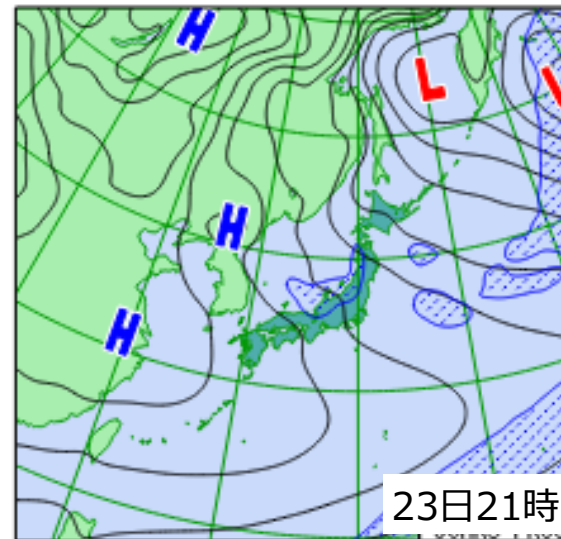
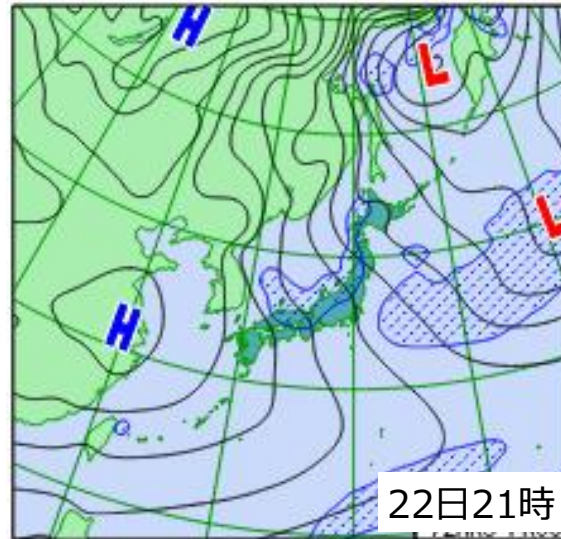
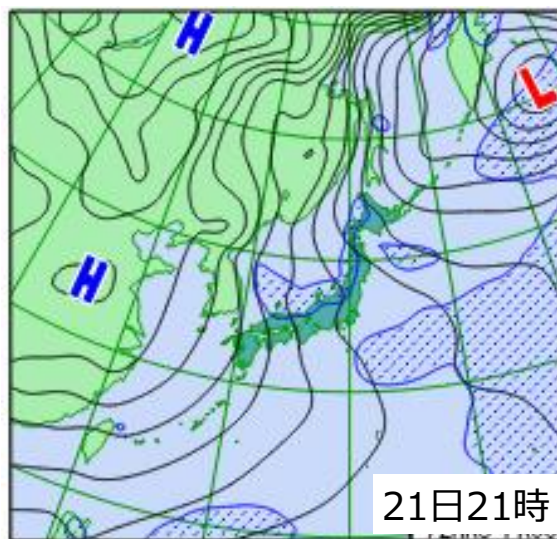
説明資料は、1月20日8時現在で入手可能な予測資料を用いて作成した説明資料です。
最新の気象情報は、気象台ホームページ等から確認ください。



気象庁 京都地方気象台

- 降雪のピークは、21日夜から22日にかけてと25日頃の2回。特に前者の期間、京都府の広い範囲で、警報級の大雪となる見込み。
 - ・ 近畿地方は21日から25日頃にかけて強い冬型の気圧配置が続く。
 - ・ 北部を中心に、21日から25日頃にかけての5日間程度雪が降り続き、降雪量がかなり多くなるおそれがある。
 - ・ 特に、21日夜から22日にかけては、JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）が京都府付近に停滞し、降雪量がかなり多くなり、北部、南丹・京丹波、京都市の山地で警報級の大雪となる可能性が高い。
- 積雪や路面の凍結による交通障害に警戒。
 - ・ 電線や樹木の着雪に注意。なだれに注意。
 - ・ ビニールハウス、カーポートなどの簡易な建築物や老朽化している建築物などは、倒壊のおそれがあるため注意。
 - ・ 農作物の管理に注意。

1月21日から25日にかけての気圧配置



H : 高気圧
L : 低気圧

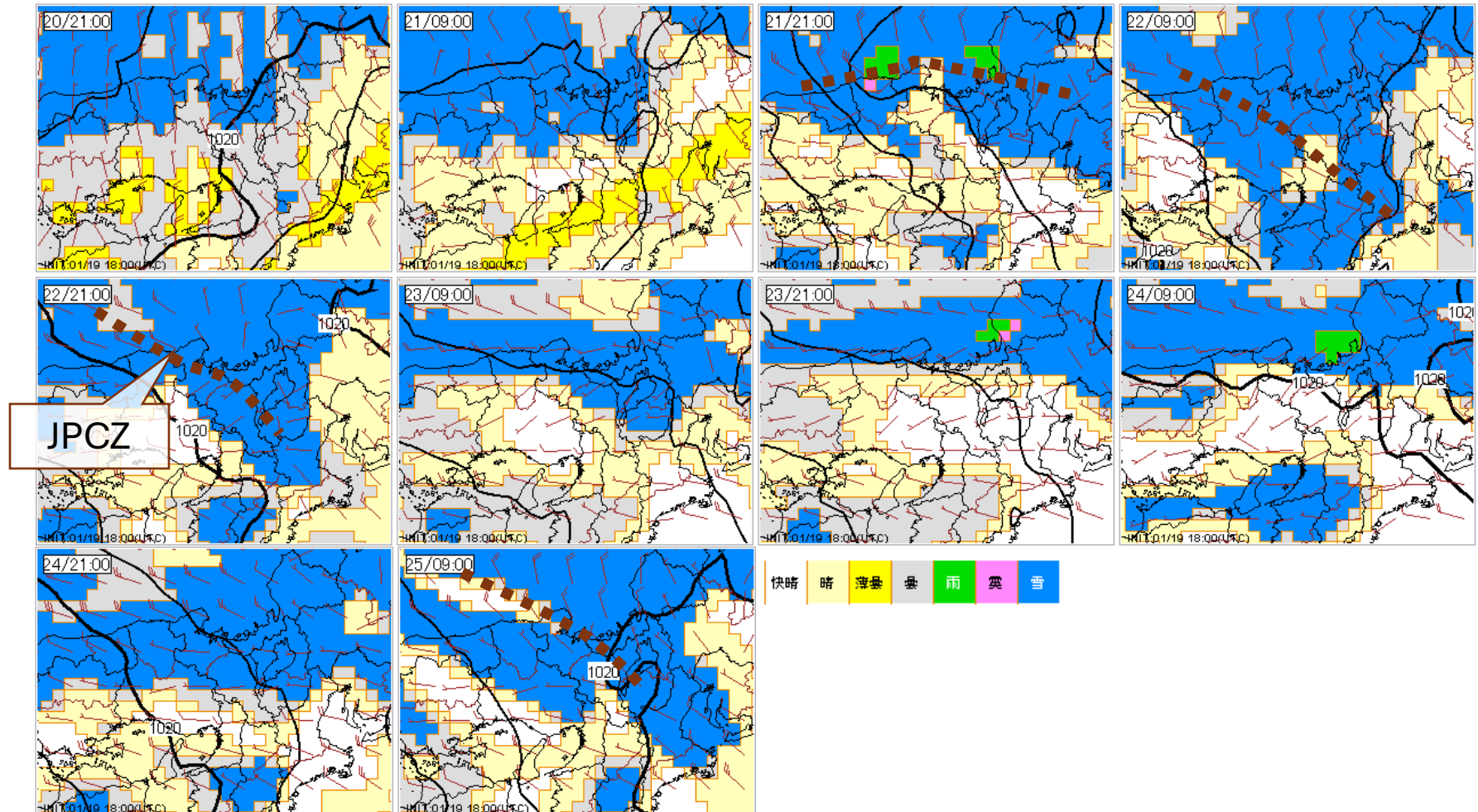


ハッチは24時間降水量
5ミリ以上の範囲

- 21日から25日頃にかけて、近畿地方の上空約1500mに、氷点下9度以下の寒気が流入し、強い冬型の気圧配置が続く。
- 21日夜から22日にかけてと、25日頃に、降雪のピークが2回ある。
- 21日夜から22日にかけてを中心に、25日頃にかけて降雪量がかなり多くなるおそれあり。

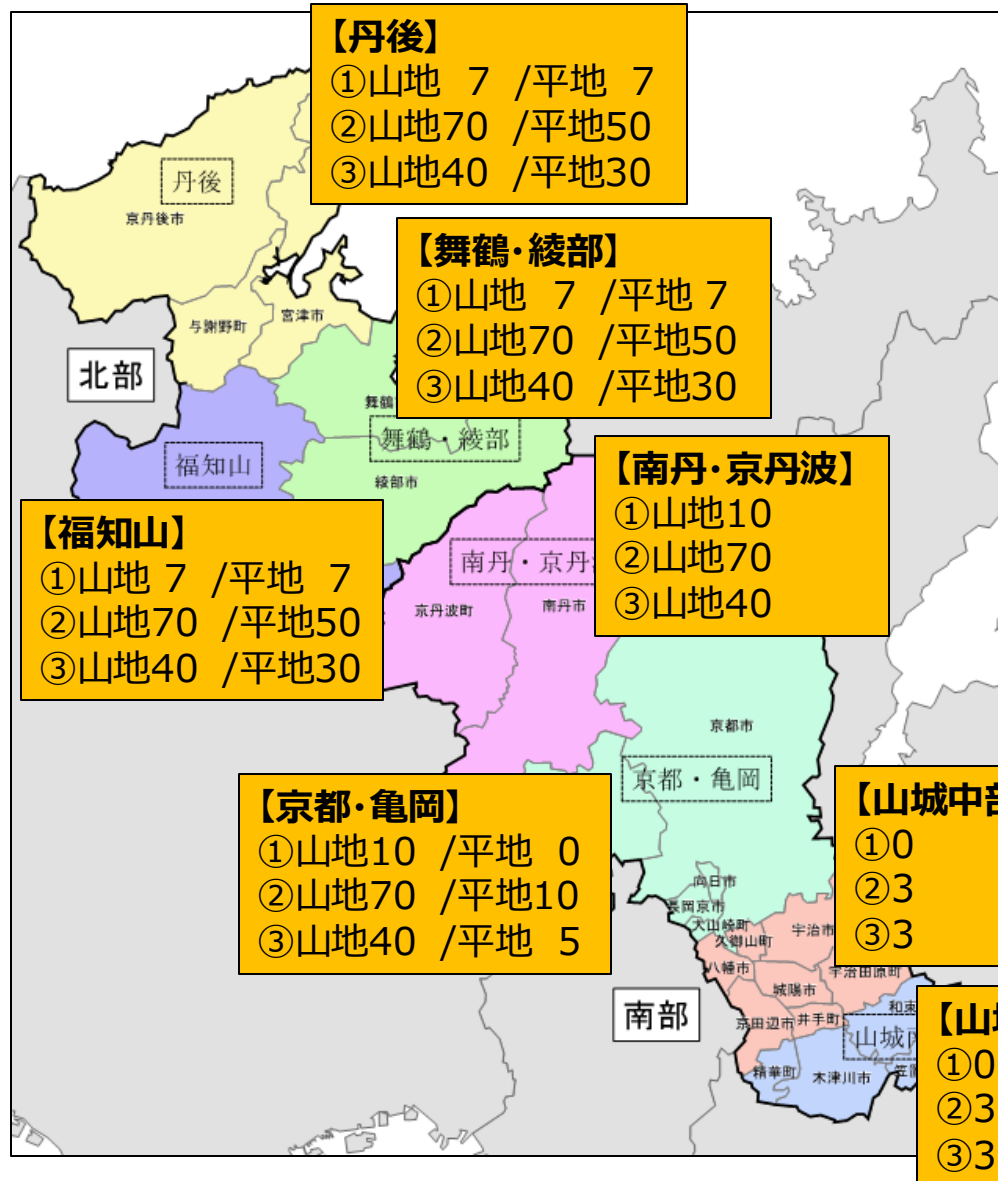
京都府の天気とJPCZの動向

● 数値予報モデルによる20日21時から25日9時にかけての12時間ごとの天気分布



- 21日夜から22日にかけて、JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）が、京都府付近に停滞するおそれ。
- 22日は、JPCZ付近で雪雲が発達するため、京都府の広い範囲で警報級の大雪となる可能性が高い。また、京都・亀岡の平地でも注意報級の降雪となる見込み。

24時間降雪量



市町村等をまとめた地域
 24時間降雪量（多い所）

【期間】

①20日12時～21日12時

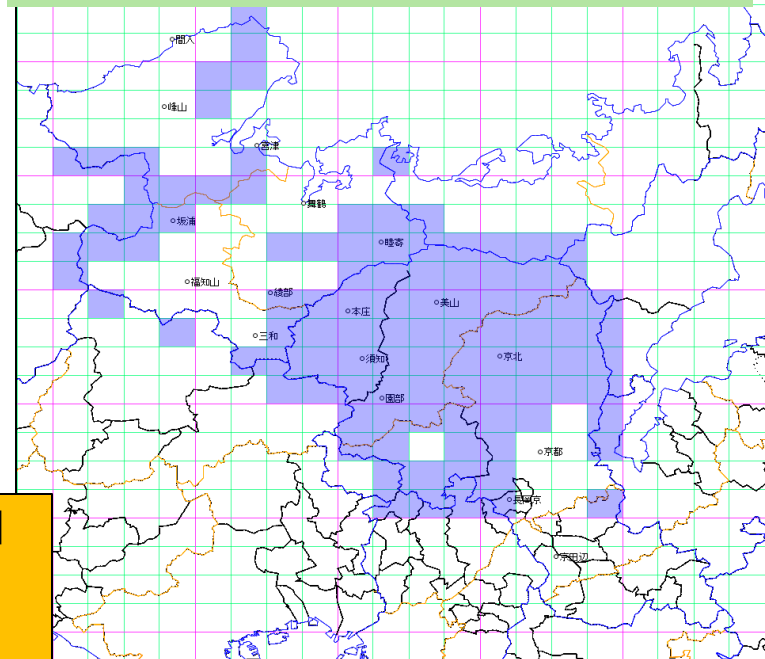
②21日12時～22日12時

③22日12時～23日12時

（単位：cm）

※山城中部と山城南部は山地と平地の区別なし

紫色の領域が山地（標高200m以上）



- 23日12時以降は、北部中心に、さらに降雪量が増加する見込み。

(参考) 大雪のおそれに応じて段階的に発表される気象情報と対応

